

1. 業務の目的

災害時に比較的被害の少ない地方公共団体から被災地の地方公共団体を支援する体制を構築するため、災害時の後方支援拠点施設のあり方及び平常時に当該施設に求められる機能を整理するとともに、後方支援を実施するにあたり必要となるノウハウや官民連携体制の構築手法について、岩手県遠野市をケーススタディとして検討を行うことを目的とする。

3. 検討結果概要

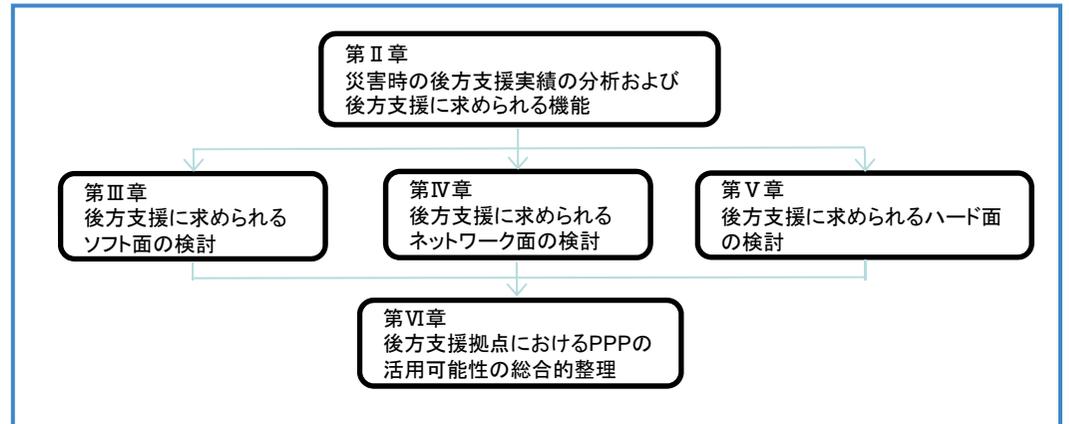
II. 災害時の後方支援実績の分析および後方支援に求められる機能

遠野市の後方支援活動

- ▶東日本大震災では、甚大な被害により、被災自治体の行政機能が完全に喪失した状況下において、遠野市が後方支援拠点として、重要な人、モノ、情報の集積拠点として有効に機能した。



2. 業務の内容



III. 後方支援実績に求められるソフト面の検討

フェーズ毎のニーズと求められるリソース

- ▶後方支援のソフト面での要素として、救出・救命期、救援期、応急復旧期の3つのフェーズについて状況をまとめ、必要となるリソースを整理した。

フェーズ	1	2	3
名称	救出・救命期	救援期	応急復旧期
定義	生命の危険のある状態の被災者の危険を取り除くこと、もしくは必要に応じて医療関係者に委ねることを優先にする段階	生命の危険のない状態の被災者を最低限の生活のできる状態にすること、避難～避難所の段階	最低限の機能できるようにインフラ、公共施設、住宅等を機能させること、仮設住宅の段階
象徴的状況	避難時期	避難所生活	応急仮設住宅生活
状況	被災者の生命危機を取り除くことが最優先の時期。外部からの支援活動は期待できないため、地域の助け合い、専門機関の活動が中心となる。	被災者が最低限の生活ができる環境をつくり出す時期。	仮設住宅が完了し、被災者の自立生活再建が始まる。新たなサポートが必要となる。
活動	救助・救出、避難誘導、安否確認、捜索、医療(救命、治療)、避難所開設・運営	避難所運営、捜索、安否確認、医療(救命、治療)、物資依頼・配給、2次災害防止、応急復旧工事、被害確認、被災者ケア、衛生管理、情報受発信、生活再建支援	被災者ケア、生活再建支援、コミュニティ復興支援、事業再建支援、事業起業支援、復興計画策定、災害検証・伝承
リソース(モノ、資材)	備蓄品が中心となる。救出、救命のための資材や物品が必要。また、命をつなぐ水、食料、時期により防寒などの対策も重要となる。	外部からの支援も入るようになり、飲料食料の配給と日常生活に必要な生活物品、衣類等が求められる。また、避難所運営の物品や情報機器も必要。	仮設住宅生活では基本的に救援物資は支給されなくなる。被災者の支援活動に対する新たな支援物資が民間団体を中心に提供される。
リソース(ヒト)	被災地では地域の人での助け合いが中心。また、専門救助機関が活動する。後方支援拠点では、行政や公的機関が準備を始める。	専門救助機関の活動継続に加え、被災自治体や被災者を支援する公的機関やボランティアが活動始める。また、復旧工事作業の人材も多く必要となる。	被災自治体に対する応援自治体や契約機関が活動する。また、生活再建や事業再建のための専門家や被災者やコミュニティのサポートをするボランティアが活躍する。

IV. 後方支援に求められるネットワーク面の検討

民間事業者を含めたネットワークの活用

- ▶災害時の対応として、自治体間の災害協定の事例や民間事業者との協定を検討し、必要になった時に支援を受けるためどのような協定が結ばれているか検討した。

V. 後方支援に求められるハード面の検討

後方支援拠点の役割・機能

- ▶東日本大震災の経験から、一般的な災害対応後方支援拠点に求められる役割・機能(施設・設備)等を検討した。
- ▶後方支援拠点整備に活用可能なPPP手法を検討し、手法別のVFMを試算した。

役割	機能(施設・設備)
①指令本部 (情報通信含む)	総合指令室、衛星通信による電話・ネット等のICTインフラ環境、消防車両等、がれき処理用の重機
②受入集結・展開	広大な広場、駐車場(重車両も駐車可能な場所が望ましい)、ヘリポート設置可能なスペース
③救急医療本部	応急救命器具、医療機器、医薬品、診察室
④備蓄品保管	想定人数の3日分の食料、飲料水、日用品、育児用品、電池、懐中電灯、ろうそく、ガソリン、灯油、重油(ポイラー)
⑤支援物資仕分け・搬送	支援物資の仕分けスペース(体育館・広い公民館・会館等)、配送用の車両および燃料、配布用のビニール袋
⑥避難拠点	避難所開設に必要な備品
⑦支援者サポート (宿泊、入浴)	被災地支援者の円滑な活動に対する支援
⑧衛生 (トイレ、ごみ等)	常設のトイレの設置、不足分は仮設で対応(汲み取り業務の継続)、ごみ収集の実施、入浴(お風呂、シャワー等)

リソース・マトリックス(抜粋)

大きな被害を及ぼす自然災害が発生した際に、いつどのようなリソース(物品、機材、人材など)が必要になるかを整理し、「リソース・マトリックス」を作成した。

フェーズ		フェーズ① 救出・救命期
		被災者の生命危険を取り除くことが最優先の段階。 地域の助け合い、専門機関の活動が中心。救命、救出活動や命をつなぐために必要なものを最低限揃えることが重要
リソース	カテゴリー	避難時期
	水・飲料	まずは最低限の水の確保が重要 <input type="checkbox"/> 水
	食料	調理や器具がなくても食べられるもの <input type="checkbox"/> 缶詰(主食・副食) <input type="checkbox"/> 乾燥米 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> インスタント食品 <input type="checkbox"/> レトルト食品 ※要アレルギー対応、高齢者対応 <input type="checkbox"/> 乳幼児調整粉乳(使い捨て哺乳瓶) <input type="checkbox"/> 離乳食 後方支援拠点、自炊可能な場所では炊き出しが始まる <input type="checkbox"/> 米 <input type="checkbox"/> 塩
	情報	救援要請、被害伝達、情報収集のために使うもの <input type="checkbox"/> 衛星電話 <input type="checkbox"/> 無線機 <input type="checkbox"/> 受令機 <input type="checkbox"/> ラジオ/ラジカセ <input type="checkbox"/> カメラ <input type="checkbox"/> 延長コードドラム <input type="checkbox"/> 電池 救援活動を行うための地域情報 <input type="checkbox"/> 地図 <input type="checkbox"/> 自治体データ() <input type="checkbox"/> リソースリスト
	避難・救援 応急復旧	避難・救援や簡易の応急復旧活動のための装備品 <input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> ヘッドライト <input type="checkbox"/> 安全長靴 <input type="checkbox"/> ゴム手袋 <input type="checkbox"/> 革手袋 <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> 防煙防塵マスク <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 担架 <input type="checkbox"/> 工具セット <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> ブルーシート
	生活用品	ライフラインが途絶した環境でも明かりや暖をとるもの <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 電池 <input type="checkbox"/> ランタン <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> アルミブランケット <input type="checkbox"/> カイロ <input type="checkbox"/> ローソク <input type="checkbox"/> ライター <input type="checkbox"/> 暖房器/扇風機 何かと活用できるもの <input type="checkbox"/> ポリタンク <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> バケツ <input type="checkbox"/> ぞうきん <input type="checkbox"/> 手持ち袋 <input type="checkbox"/> ポリ袋 <input type="checkbox"/> ゴミ袋 <input type="checkbox"/> ガムテープ <input type="checkbox"/> マジック <input type="checkbox"/> カッター <input type="checkbox"/> はさみ